

請願第 20号

令和6年 9月 3日

川崎市議会議長 青木 功 雄 様

中原区

川崎市教職員組合

執行委員長

ほか 2,829名

子どもたちの安心安全な教育環境の整備に係る意見書採択の
要請に関する請願

請 願 要 旨

子どもたちの学びを保障するため、国及び関係する行政機関に対し、以下の内容について意見書を提出していただきたい。

- 1 行き届いた教育を実現するために、学級数等によらない教職員の定数改善、少数職種や教員免許を有しない人員の配置増のための予算を確保・拡充すること。
- 2 子どもたちの安全・安心な教育環境の整備のための予算措置を講じること。
- 3 義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

請 願 の 理 由

学校現場では、定数が決まっているため年度当初に配置できる人数は限られていますが、必ずどの学校でも年度途中で産休や病休による欠員が発生します。しかし、年度の途中に決められた期間だけ勤務することができるような方は少ないため、代替の職員が全く配置されない現状があります。学校内では、人が減っていく一方です。このような課題に対応するため、学級数や児童・生徒数によらない職員などの計画的定数改善が必要です。

さらに、全国的にどの業界も人員不足が叫ばれていますが、教育の現場も例外ではありません。教員がより子どもたちと向き合う時間を増やすため、子どもたちの豊かな学びを保障するためには、教員を始めとした学校における教職員それぞれの職種による役割を明確化し、業務遂行体制を改善するなど、本来業務に専念できるよう環境整備をする必要があります。そのためにも、義務教育費国庫負担制度を堅持し、財源をきちんと保障した上での定数改善を行うことが大切です。そして、少数職種や教員免許を有しない人員（スクールカウンセラー・事務支援員・介助員等）の配置拡充をするなどの措置が必要です。

昨今の物価高騰や異常気象などの社会情勢や環境問題は、子どもたちにも大きく影響を及ぼしています。急激な物価高騰により、学校の大規模修繕や設備の修理などの対応業者がなかなか決まらず、何年も入札が不調に終わっている現状があります。

また、先日市内の学校で受変電設備の故障に伴う停電が生じ、学校が臨時休業となりました。学校設備が老朽化しているところも多くあり、故障しているのになかなか修理に来てもらえなくて困っているという現場の声も聞かれます。設備故障で子どもたちの学びを止めないために、学校の外壁や体育館の修繕などの大規模な改修だけではなく、電気・水道や、給食室設備など校舎設備の改修を計画的に行うことが重要です。子どもたちが安心安全に学ぶことができるよう、教育環境の整備のための予算措置を求めます。

子どもの学ぶ意欲・主体的な取組を引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠です。こうした観点から、政府予算編成において上記事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定に基づき、国の関係機関への意見書提出をお願いいたします。

紹介議員

原		典	之
嶋	田	和	明
河	野	ゆかり	
渡	辺		学
岩	田	英	高
月	本	琢	也
吉	沢	章	子
三	浦	恵	美